

地域の行事や身近な話題、耳寄りな情報をお待ちしています!

広報誌への問い合わせ、取材依頼は…
役場企画財政課広報統計係 ☎(86)1134[直通]

2018年南日本新聞新春文芸 短歌部門で見事一席を受賞

元日の南日本新聞に2018年新春文芸の入選作が発表され、短歌部門で、本町文化協会長の竹之内重信さん（蔵之元）の作品が見事第一席で紙面を飾りました。

約300首近い応募作品の中から、一席を獲得した竹之内さんの作品を、選者の永田和宏氏は「まさに一族集まっての新年会の喜びというべきだろうが、第四句の『膳を跨ぎて』がすべてだろう。この句にその勢い、一座の華やぎが感じられる」と評されています。

受賞作品

「新年会叔父が踊れば次々と膳を跨ぎて親族踊れり」



↑賞金と友人からの祝電を手に笑顔の竹之内さん

東神楽町ウィンタースクール 北海道東神楽町の子どもらと交流



←スキー体験をする児童たち

町内の小学5・6年生の児童たち20人が、12月23日から27日までの5日間、東神楽町ウィンタースクールに参加しました。

北海道東神楽町は、本町と同じ花のまちづくりを推進しており、それを縁に平成26年度から児童たちの交流事業を行っています。

参加した児童らは、現地の子どもたちと一緒に雪遊びやジンギスカン料理を楽しんだりして、交流を深めていました。

今年の夏は東神楽町の児童が長島町を訪れ、さらに交流を深める予定です。

宝くじ助成金で防犯灯を設置 集落の防災に一役

平成29年度宝くじ助成金により、要望のあった伊唐、浜漣、山寺集落など25集落に合計25基の防犯灯が設置されました。

この取り組みは、住民らが自主的に行うコミュニティ活動の促進と夜間の交通事故防止や犯罪を未然に防ぎ、地域の安心・安全を確保するためのものです。



↑山中集落に整備された防犯灯